

SR-S248TC1 V13.05 変更内容一覧

□機能追加

No.	項目	内容
1	ループ検出機能改善	ポート遮断モード(portblock)におけるループ監視中状態において、ループ監視フレームの受信だけでなく、PAUSEフレームを受信し続けている状態もループ障害が継続していると見なすよう改善しました。
2	RADIUSクライアント機能改善	RADIUSサーバへのAccessRequestおよびAccountingRequestパケットにNas-Identifierアトリビュートを設定可能としました。
3	リンクダウンリレー機能改善	バックアップグループ単位でリンクダウンリレー機能を動作可能としました。 バックアップグループのmasterポートおよびbackupポートのどちらも稼働できない状態となった場合にリンクダウンリレーが発動します。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V12.05～V13.03	シェルの補完機能で数文字入力して引数説明を表示したとき、入力した文字で始まらない引数の説明も表示されることがある。
2	V12.05～V13.03	以下の場合にスケジュール機能が指定時刻に動作せず、指定時刻以外の時刻に実行されることがある。 *scheduleコマンドで指定した実行時間の1～90秒前に時刻の設定、schedule機能定義を変更する。 *addactコマンドで指定した実行時間の1～90秒前に時刻の設定、schedule機能定義を変更する。
3	V12.05～V13.03	定常的にPAUSEフレームを送信し続ける装置を接続すると、他のポートで自発フレーム(ping,BPDU,loop detect等)の送信ができなくなることがある。
4	V12.05～V13.03	IEEE802.1X認証成功時のEAP Successパケットが認証VLAN登録完了前に送信されるため、EAP Successパケット送信直後に認証成功端末から送信されたパケットが正しく転送されない場合がある。
5	V12.05～V13.03	LLDP情報に関連する構成定義コマンドにおいて、設定変更してもLLDP情報が更新されない場合がある。
6	V12.05～V13.03	DUMPスイッチ押下による外部メディアへファイル転送中に、WWWブラウザから本装置の設定処理を行うと装置がシステムダウンする場合がある。